



No.254
2022.1.9

四季報

発行
藤沢探鳥クラブ
〒251-0038
藤沢市鵜沼松が岡 5-13-13
藤山方 0466-25-1817



オシドリ（2021年2月町田市薬師池）撮影：水越 喜代蔵

<1月例会> 1月16日（日）

狩川探鳥会

（平坦） ※雨天中止

酒匂川支流の狩川を大雄山線穴部駅から土手を上流に向かいます。冬の鳥や水鳥を捜しましょう。ここは、風が強く避けるところが有りません。防風、防寒対策をしっかりとって参加ください。

集合 JR藤沢駅 8:00（8:07 発小田原行 先頭車両乗車）（参考）戸塚 7:56 辻堂 8:11 茅ヶ崎 8:15 小田原着 8:43（乗換）大雄山線 9:00 発 大雄山行

持ち物 観察用具、弁当、飲み物、雨具防寒具等

解散 現地 14時ごろ

担当・問い合わせ

青山 0466-87-2489 中村 0467-52-9043

<2月例会> 2月20日（日）

多摩森林科学園探鳥会

（坂道あり） ※雨天中止

森林の動植物の生態に関する研究施設です。豊かな森の中での探鳥を楽しみましょう。

集合 小田急藤沢駅 8:10

藤沢 8:18 発小田急快速急行新宿行き先頭車両乗車、町田乗り換え 町田発 8:58 JR 横浜線八王子 9:24 着 中央線に乗り換え同駅 9:30 発 高尾駅 9:37 下車

持ち物 観察用具、弁当、敷物、マスク、雨具等
入園料 300円

解散 当園にて 14時頃

担当・問い合わせ

嶋岡 0466-50-5816 飯島 045-803-9294

賀 正

藤山 素子

新年あけましておめでとうございます。
コロナ感染拡大が始まりあつという間に2年
がたち、変異株ウイルスの感染拡大が懸念さ
れる年を迎えました。

私達の探鳥会も感染拡大を避けながら注意
深く行わなければなりません。それでも探鳥
会が開催されると、みなさまと楽しいひと時
を過ごすことができます。人と交わり、自然
と親しむことが、この過ごしにくい今を明る
く過ごしていく一助となるのではないでしょ
うか？

少しでも早くコロナウイルスが終息するこ
とを祈りながら、探鳥会や会報を通してみな
さまと「野鳥がいつも私たちの隣にいる」喜
びを胸に抱きながら、新しい年を過ごしま
いりましょう。

川名 通 年 探 鳥 会

11月7日(日) 8:05~11:00 晴
青山喜行

秋も深まり風も冷たくなってきましたが、
新型コロナが収まってきたせいか、20人を超
える参加者となり、探鳥クラブとしては大盛
況の探鳥会になった。

境川に出ると上空を、数を数えられないく
らいのヒメアマツバメが飛び交っていた。

爽やかな鳴き声はイソヒヨドリで、最近で
は常連の野鳥になった。

清水谷戸ではまだ縄張りが確定していな
いのかモズが鳴き、新林公園での鳥合わせの
時には、上空にハイタカが現れ、最後まで楽し
みました。

見聞きした鳥 ハイタカ、イソヒヨドリ、イ
ソシギ、ユリカモメ、ヒメアマツバメ、スズ
メ、ハシブトガラス、ハクセキレイ、ヒヨドリ
、アオサギ、ムクドリ、トビ、ハシボソガ
ラス、カワウ、ジョウビタキ、モズ、メジロ、
カワラヒワ、キジバト (19種)

(参考外来種 ドバト、ガビチョウ)

参加者 秋山孝、森静子、斎藤幸枝、大石正
子、石井浩子、城殿博、青山喜行、菅谷芳雄、
鍋田里奈、鍋田小百合、佐藤武、吉野恵子、
飯島秀子、谷誠一、藤本悦朗、嶋岡章、大山
厚子、福田修子、高橋和也、橋本孝、中村幸
男、藤山素子 (22名)

表紙説明 2021年2月4日撮影

オシドリとトモエガモが薬師池に飛来していると、1週間ほど前に聞き
2021.2.4に行きました。居ないかも知れないと思って出かけましたが、運良く
出会うことができました。

水越 喜代蔵

12月5日(日)

8:00~10:50 晴

城殿 博

日差しは十分だが、北風が頬に冷たい。親子連れ2組を含む参加者一行がそぞろ歩きしながら藤沢駅南口を出発。この日はいつになく多彩な鳥種に遭遇。まず新川名橋付近ではハイタカが滑空と羽ばたきを交えて2度出現。私自身は見損ねたがチョウゲンボウの姿も。久方ぶりの猛禽類の登場だ(トビとともに)。

柏尾川では長らく見る事のなかったカイツブリがオオバンとツーショットの場面も。川沿いで相次いで出現する水鳥や小鳥に自ずと歩みがペースダウン。残念ながら、この時期の人気者のジョウビタキやツグミ類の姿や清水谷戸入口付近の常連のモズの声もなかったが、話題豊富な一日だった。

見聞きした鳥 メジロ、カルガモ、イソシギ、ハイタカ、カイツブリ、ヒドリガモ、オオバン、シジュウカラ、スズメ、イソヒヨドリ、カワウ、ツグミ、コサギ、ハシブトガラス、アオサギ、ムクドリ、トビ、カワセミ、チョウゲンボウ、ハクセキレイ、キジバト、ヒヨドリ、ヒメアマツバメ(23種) 外来種: ドバト

参加者 鍋田里奈、鍋田小百合、飯島秀子、日高順子、佐藤武、田中正信、福田修子、城

殿博、中田匡也、中田瑚春、藤本悦朗、谷誠一、嶋岡章、藤山素子(14名)

目久尻川探鳥会

11月21日(日) 9:10~14:00 曇り

鍋田 小百合(小2・8歳)

わたしは、鳥が大好きです。鳥は、うつくしくて、かっこいから、好きになりました。だから探鳥クラブに入りました。

探鳥クラブに入ってみると、ふだんはあまり見かけないカワセミや、ツグミなどを見ることができました。今回の目久尻川探鳥会では、めずらしいキジが見られて、とてもうれしくて、とびはねてしまいました。また、前回の川名探鳥会に見られたイソヒヨドリが、目久尻川では1羽も見られなかったのは、ふしぎに思いました。こんど、その理由を調べようと思っています。

これまでは、コロナで外の活動が難しかったですが、ようやく活動ができてうれしいです。

できれば、みなさんのかんそうを、聞いてみたいと思います。これからも、どうぞよろしくお願いします。

見聞きした鳥 トビ、ムクドリ、キジバト、スズメ、トラフズク、カワセミ、バン、カルガモ、カワウ、カイツブリ、コガモ、キセキレイ、マガモ、モズ、チョウゲンボウ、アオ

サギ、シジュウカラ、タヒバリ、セグロセキレイ、ダイサギ、ホオジロ、キジ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、イソシギ、ヒドリガモ、ヒヨドリ、カワラヒワ、ツグミ、オオバン、ジョウビタキ、カシラダカ、オオタカ、ノスリ、ハクセキレイ、ビンズイ (36種)

参加者 酒井天栄、酒井進、佐藤武、谷誠一、中村幸男、吉澤真弓、鍋田小百合、鍋田里奈、石井浩子、小林弘子、野崎直子、城殿博、齋藤幸枝、藤山素子、飯島秀子 (15名)

石川丸山谷戸探鳥会

12月19日(日) 晴 8:05~12:00

青山 喜行

今年一番の寒さで零下に冷え込んだ朝、霜柱や薄氷を見ながら、探鳥クラブとしては大盛況の21名で探鳥会を行った。

六会日大前駅をスタートし、日大⇒天神小学校⇒石川丸山谷戸⇒聖ヶ谷をゆっくり歩き、藤沢に残された自然を楽しんだ後、大庭遊水地で鳥合わせを行い解散した。

鷹類はトビのみで、冬鳥はツグミを観察したが、ユリカモメやジョウビタキに会えなかったのが残念でした。

見聞きした鳥 ヒヨドリ、シジュウカラ、ヤマガラ、カワセミ、キジバト、スズメ、ハシブトガラス、コゲラ、カワラヒワ、メジロ、ツグミ、トビ、イソシギ、ハクセキレイ、キ

セキレイ、オオバン、カルガモ、タヒバリ、シメ、アオサギ、セグロセキレイ、モズ、エナガ、コサギ、ムクドリ、ハシボソガラス、アオジ、カワウ、ウグイス(29種) 参考:ドバト

参加者 青山喜行、城殿博、小林弘子、佐藤武、秋山孝、谷誠一、田中正信、新居誠、中村幸男、鍋田小百合、鍋田里奈、酒井進、嶋岡章、石井浩子、大石正子、齋藤幸枝、藤山素子、鹿間敏弘、鹿間弘子、酒井天栄、飯島秀子(21名)

江の島探鳥会

11月12日(金) 晴 8:30~11:50

谷 誠一

風が(南南西9m)強く海は白波が立ち海鳥もトビも飛べない状態でした。ですが、片瀬漁港の入り口に、オオバン2羽、カンムリカイツブリ1羽が波に揉まれていた。波の上にいるウミネコをトビが体当たりしてウミネコが海に落とした魚を足でつかみ飛び去る。ハシボソガラスがネズミを啜って標識に止まりすぐに林の中に消えました。ハヤブサが2羽、奥津の宮上空で強風の気流に乗ってゲリラタコのように羽を広げ停止、暫くすると羽をたたみ弾丸の様に一気に下降し、また羽を広げてゆっくりと上がって来て停止、これを繰

り返し2羽で風と遊んでいるように見えた、そのうち1羽のお尻から1本の白い線が強風でバラバラに、多分糞をしたのでしょう。狸2匹の内1匹は出て行き、残りの1匹も出て行くでしょう。

今日は、風が強く鳥の姿は無く鳴き声だけでしたが、普段見られないものを見ることができた1日でした。

見聞きした鳥 スズメ、ハシボソガラス、トビ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、オオバン、ウミネコ、カンムリカイツブリ、ハヤブサ、メジロ、セグロカモメ、ハシブトガラス、ウグイス、シジュウカラ、イソヒヨドリ、ホシハジロ、ユリカモメ、アオジ、エナガ、コゲラ、カワセミ (21種)

参加者 田中一正、安永明、田中正信、城殿博、佐藤武、藤本悦郎、日高順子、藤山素子、野崎直子、谷誠一 (10名)

12月10日(金) 晴 8:35~12:15
谷 誠一

海には、富士山をバックに漁船の後をカモメの群れが追いかけて行く。久しぶりにアオサギ5羽が寒風を背に太陽の光を浴びて暖を取っていた。ミサゴが、何時もハヤブサが停まっている木の枝で魚を食べて居たのには驚きました。Aさんがカメラで確認。魚は、

頭から食べたようで、残りはまだ20cm以上有るように見えました。場所を変えてミサゴを横から見ましたが、堂々とした姿は、頼もしく美しかったです。その上空にハイタカが江の島を観光する様にゆっくり翼を広げ飛んでいた。猛禽ハヤブサ、ハイタカ、ミサゴを楽しみました。

狸は、最後の狸が島を出て行き、新たに大人の3匹が来たそうです。

見聞きした鳥 アオサギ、イソヒヨドリ、トビ、ヒヨドリ、ハヤブサ、カワウ、ウミネコ、ハクセキレイ、メジロ、シジュウカラ、ウグイス、カワラヒワ、ミサゴ、ハイタカ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、アオジ、スズメ、ムクドリ、セグロカモメ、(20種) 外 ドバト

参加者 安永明、田中一正、田中正信、秋山孝、藤本悦郎、藤山素子、谷誠一 (7名)

新林公園の山道を歩く会

11月9日(火) 雨天中止

12月14日(火) 9:00~9:15 曇→雨

パーゴラの下スタートしようと足元を見ると雨粒が・・・山道は無理かなと思いながら歩き始めると傘が必要なほどの雨になり、これでは鳥も見られないと思い15分で引き返しました。

見聞きした鳥 シジュウカラ、ヒヨドリ、ハクセキレイ、ハシブトガラス (4種)

参加者 田中正信、橋本孝、藤山素子 (3名)
(藤山記)

ムクドリたちのねぐらは・・・

藤山 素子

師走に入り、夕方暗くなると藤沢駅南口のイルミネーションが点灯し、街が華やかな雰囲気になりました。

南口のケヤキの木がだいぶ枝落としされ、ねぐらを失ったムクドリの賑やかな鳴き声は聞こえなくなりました・・・(枝落としされていない部分にはまだ少数いますが・・・)

彼らは新しい居場所を求めて移動したようです。そこは市役所分庁舎(藤沢駅寄り)とJR線路の間のわずかな空間に生える樹木の中!夕方になるとにぎやかな声が響き渡っています。ムクドリも住みにくいとぼやいているかも?

運営委員会報告

運営委員会では、下記の議題について討議されました。

11月7日 今後の行事予定など

12月5日 四季報254号の件、今後の行事予定、2022年度の講演会について

行事等案内

※緊急事態宣言又はまん延防止等重点措置が藤沢又は探鳥地に掛かる場合原則中止になります。

川名通年探鳥会

毎月第一日曜日

2月6日(担当:橋本、未定)

3月6日(担当:藤山、未定)

集合時間 8:00 ※雨天中止

集合場所

JR藤沢駅南口名店ビル前地下道入り口付近

江の島探鳥会

毎月第2金曜日 ※雨天中止

1月14日(金)・2月11日(金・祝日)

集合 8:30 解散 12:00頃

集合場所 江の島弁天橋を渡った左の公園藤棚の下

連絡先 谷 0466-34-0381

遠藤笹窪谷観察会

観察会は休みます。

担当者 谷 0466-34-0381

新林公園の山道を歩く会

毎月第2火曜日 ※雨天中止

1月11日(火)・2月8日(火)

集合 9:00 新林公園パーゴラの下

解散 12:00頃 同上

連絡先 橋本孝 0467-85-6077

◆ガンカモカウントにご協力ください◆

今冬、引地川に到来したカモ類をカウントいたします。申し込み不要です。当日現地でご一緒しましょう。11月の四季報253号に

案内した日から2月に変更になりましたので
ご注意ください。

日時 2022年2月5日(土) 8:35(小田急
鶴沼海岸駅) 8:45頃(引地川河口R134歩道
橋下) 予備日2月11日(金・祝日) **区
間** 引地川河口→しろした橋(大庭、小糸
川合流点) **解散** 11:30頃しろした橋

担当・連絡先 ※1 藤山 0466-25-1817

e-mail : motoko-f@jcom.home.ne.jp

【案内1】日帰りハクチョウ類観察探鳥会

群馬県館林の北西部にある「多々良沼」に
は毎年多くのハクチョウ類が飛来します。一
番多くみられるこの時期にちょっと遠出をし
てハクチョウに会いに出かけましょう。**日時**
1月30日(日) ※雨天荒天時中止 (前日
17:00には決定)**集合** JR 藤沢駅改札7:00 集
合7:09 上野東京ライン宇都宮行最後尾車両
乗車8:54 着9:16 東武伊勢崎線館林行乗車
館林9:53 着東武小泉線10:01 乗車10:03 成
島駅着 徒歩で多々良沼へ

切符: JR 東日本「休日おでかけ切符」

¥2,720+東武¥900 **解散** 多々良駅15:07 発館
林乗り換え久喜駅15:43 着 JR 上野東京ライ
ン16:01 乗車藤沢駅17:43 着を予定

持ち物 観察用具、弁当(必須)、飲み物、
防寒を十分に。(トイレ各所にあり)

※ご参加希望の方は前日(1月29日)正午
までに参加のご連絡をお願いいたします。

担当・連絡先 藤山※1に同じ

【案内2】日帰り見沼田んぼ探鳥会

見沼田んぼは首都圏に残る大規模緑地空間
です。現地でご活躍されている藍沢司氏(“
ふるさと上谷沼地域創造塾”副代表)に、
埼玉県南部の拠点の一つである芝川第一調整
池を中心に、見沼田んぼをご案内いただく素
晴らしい機会です。猛禽類、オオハクチョ
ウ、コハクチョウの越冬等が見られるとのこ
とです。

日時 2月23日(水・天皇誕生日休日) ※
雨天荒天時中止 **集合** JR 小田急藤沢駅改
札口8:10 8:17 発上野東京ライン小金井行
最後尾車両乗車→赤羽駅乗り換え(9:29
着・9:34 発 JR 京浜東北線大宮行き)→南浦
和駅乗り換え(9:46 着・9:54 発 JR 武蔵野線
東京行き)→9:58 東浦和駅下車東浦和駅改
札口外に集合

持ち物 観察用具、弁当、敷物、飲み物、
マスク等感染予防品、防寒を十分に。解散:
現地東浦和駅(予定:15:16 発→藤沢駅着
16:53) **交通費** 交通系 IC で藤沢から片道
¥1,342-前日18:00 までに参加のご連絡をメ
ールあるいは電話でお願いいたします。

担当・連絡先 藤山※1に同じ

年会費について

年間 **二千円**です。納入されるときにはお間違えないようにお願いします。

会費振込先；郵便為替口座番号

00230-2-38355 藤沢探鳥クラブ

郵便局以外の銀行から振り込む場合は、

ゆうちょ銀行 029 店 当座 0038355

フジサワタンチョウクラブ

なお、今年度からは探鳥会で現金でも受付ける事になりましたのでよろしくお願ひします。

藤沢探鳥クラブ連絡先等

藤山 素子 0466-25-1817

HP アドレス；

<https://fujsbwc.iimdfree.com/>



ホームページのQRコードです。スマホなどから読み取ってご覧ください。

ご寄附のお願い

当クラブの活動運営のためにご支援をお願い致します。

※1,000円以上ご寄付くださった方には、藤沢探鳥クラブ特製のクリアファイルをプレゼントいたします！

令和4年が明けました。どんな年になるか楽しみです。コロナ禍が治まり普通の風邪になる事を願います。今年も野鳥に会いに行きましょう。

投稿先を下記します

皆様のご協力をお願いします

嶋岡 章 (原稿)

〒251-0052 藤沢市藤沢 545-72-401

e-mail : akiras.shimaoka@gmail.com

電話/FAX 0466-50-5816

青山 喜行 (写真)

〒252-0816 藤沢市遠藤 930-5

e-mail : aoyama-y@jcom.home.ne.jp

“2022年夏の講演会 講師決定”

今年の講演会は、日本野鳥の会主席研究員安西英明氏にお話し頂くことになりました。

安西英明氏は、日本野鳥の会での研究のほか、メディアや企業やカルチャーセンター講師等をされご活躍中。「野鳥」の世界へ絶妙なトークで私達を引き込んでくださるでしょう。

日時 2022年8月21日(日) 10:00~12:00 場所 藤沢市民会館小ホール

ご期待ください！この日は是非今年の予定に入れておいて下さい。